

## 令和元年度地域課題研究懸賞論文 受賞論文（最優秀）の概要

実施主体：学園都市づくり交流会議

学園都市づくり交流会議では、東広島市における学生等の学術研究活動を促進し、大学と地域が連携したまちづくりの推進に寄与することを目的に東広島市の地域課題を研究した論文を募集・表彰する「地域課題研究懸賞論文事業」を実施しています。

この度、令和元年度の受賞論文について、厳正な審査の結果、6件決定しました。

なお、受賞論文については、著者個人の意見であり、学園都市づくり交流会議及び東広島市の公式見解ではありません。

# 東広島市における 交通バリアフリーに関する研究

—視覚障がい者への聞き取り調査をもとにした  
誘導用ブロックの調査を中心に—

広島大学教育学部 4年 山本 茂将

# 章構成

## 序章

- (1)研究の背景と意義
- (2)本研究の目的と方法

## 第1章 日本におけるバリアフリー化への取り組み

- (1)高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(交通バリアフリー法)
- (2)高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)
- (3)視覚障害者誘導用ブロック

## 第2章 東広島市におけるバリアフリー化への取り組み

- (1)東広島市の概観
- (2)東広島市移動円滑化基本構想について

## 第3章 東広島市における整備状況

- (1)東広島市移動円滑化構想について
- (2)東広島市移動円滑化構想作成時の整備状況
- (3)現在の整備状況
- (4)東広島市移動円滑化基本構想からみた東広島市の課題

## 第4章 聞き取り調査・現地調査によって明らかにした視覚障害者誘導用ブロックの利用状況・設置状況

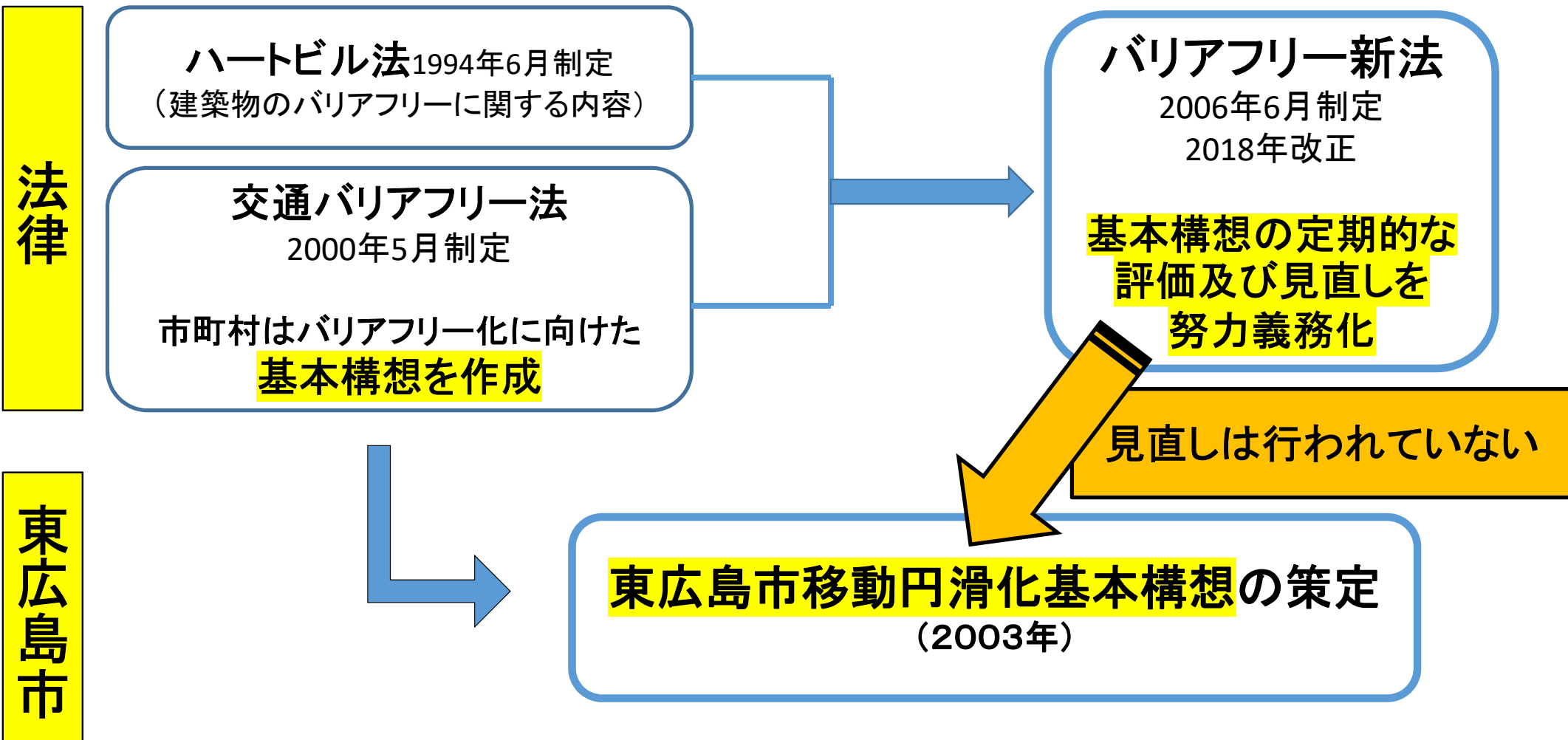
- (1)聞き取り調査
- (2)現地調査
- (3)調査結果

## 第5章 東広島市における視覚障害者誘導用ブロック利用及び設置に関する課題

## 終章

- (1)本研究の成果
- (2)本研究の課題

# 1. 研究の背景ーバリアフリーに関する法律ー



# 1-3. 東広島市移動円滑化基本構想

## —重点整備地区の設定—

駅から公共施設や福祉施設等まで連絡する  
主要な経路を  
「**特定経路**」として指定

特定経路に準ずる道路を  
「**準特定経路**」として指定



西条駅周辺の重点整備地区及び特定経路

## 1-4.研究の目的

### 目的①

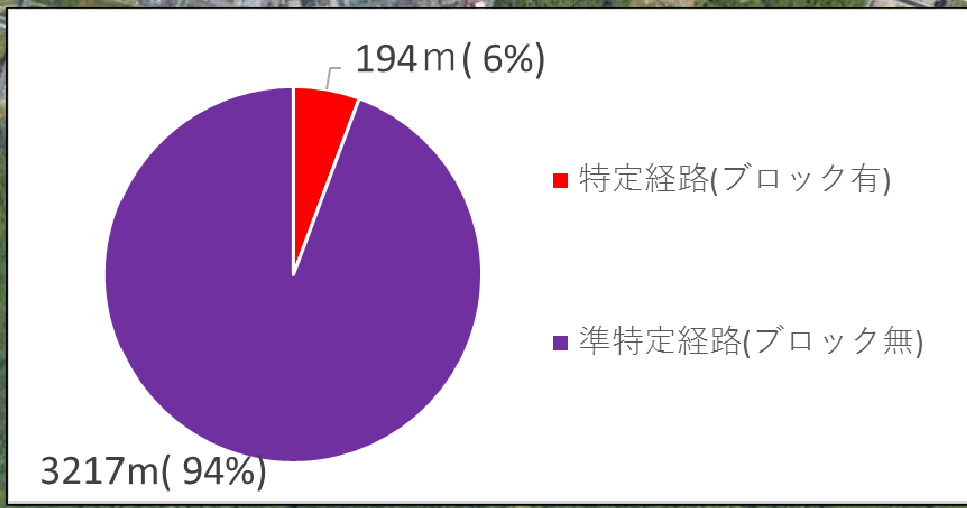
重点整備地区内における誘導用ブロックの設置状況を  
現地調査により明らかにすること

### 目的②

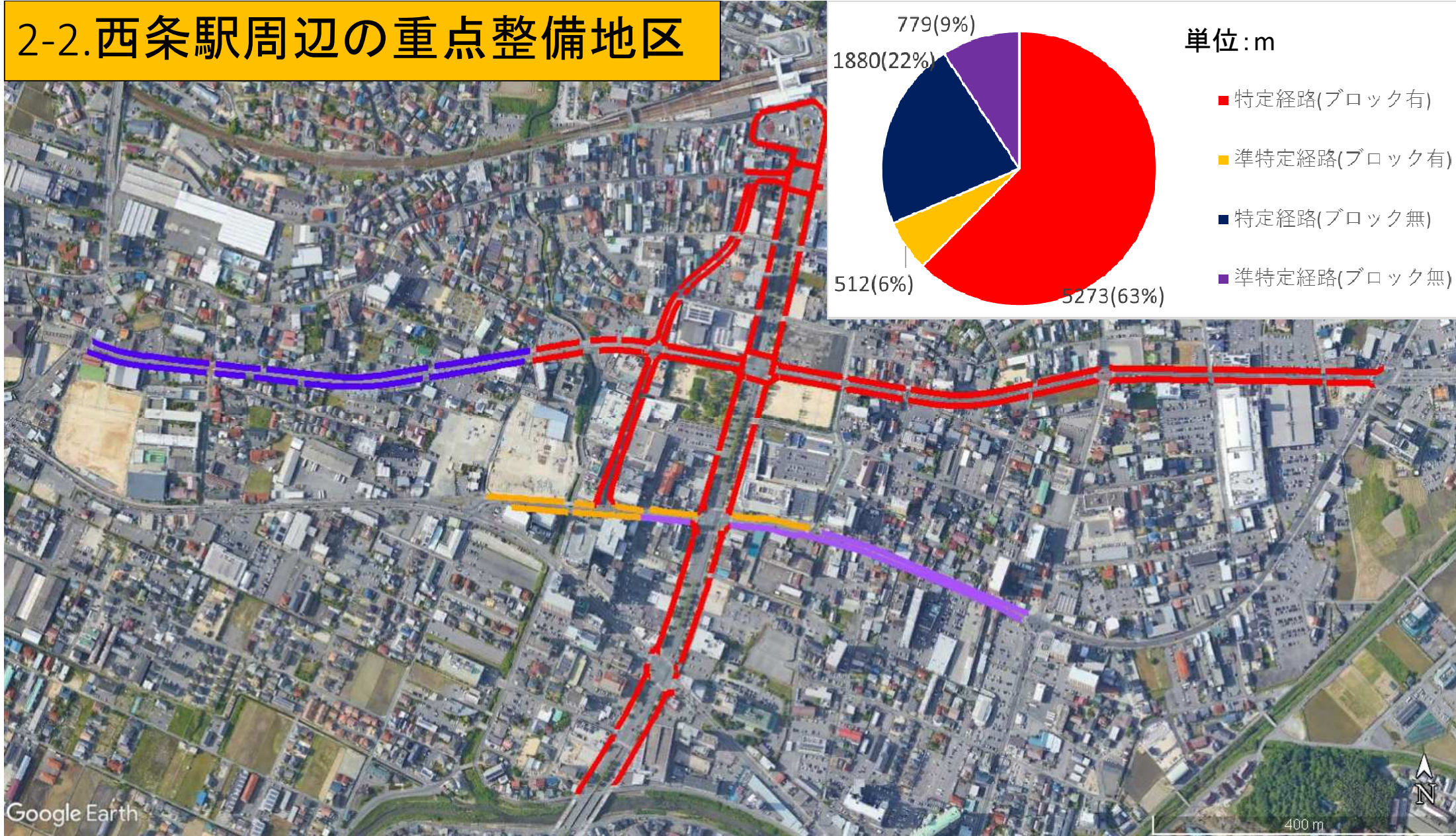
東広島市における誘導用ブロックの利用及び設置に関する課題を  
聞き取り調査と現地調査から明らかにすること

# 2-1.八本松駅周辺の重点整備地区

- 凡例
- 準特定経路(ブロック無)
  - 準特定経路(ブロック有)
  - 特定経路(ブロック無)
  - 特定経路(ブロック有)

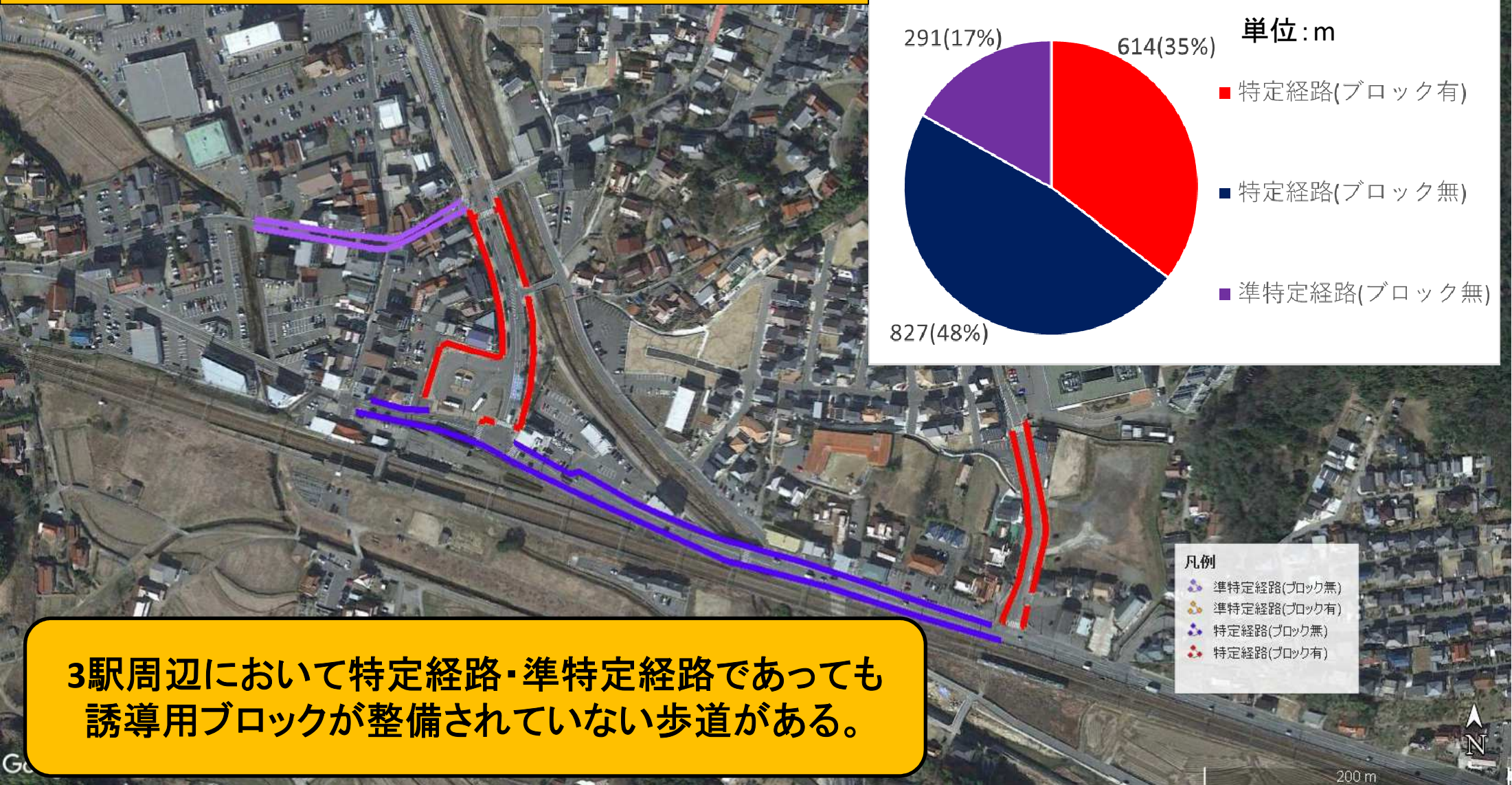


## 2-2.西条駅周辺の重点整備地区





## 2-3. 西高屋駅周辺の重点整備地区



3駅周辺において特定経路・準特定経路であっても誘導用ブロックが整備されていない歩道がある。

## 3-1. 聞き取り調査から明らかになったこと

聞き取り調査の目的：視覚障害者の立場にもとづく誘導用ブロック現地調査の視点を得ること

### ① ブロックの色

弱視者にとって歩道と同系色のブロックは見えづらく、黄色が一番見えやすい。  
誘導用ブロックが歩道と同系色になっている箇所：西条駅周辺  
フジグラン東広島周辺

### ② 摩耗・破損等

摩耗等によりブロックの突起部分がすり減り、誘導用ブロックを認識できなくなる時がある。

ブロックの色及び摩耗・破損等が誘導用ブロック利用上の課題である。

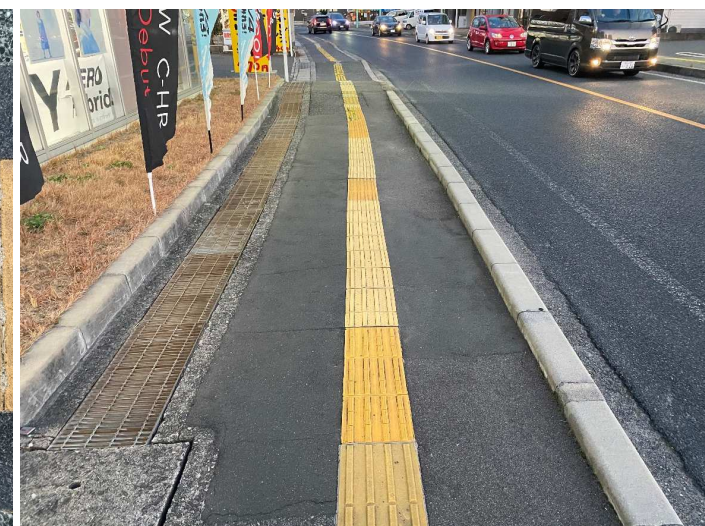
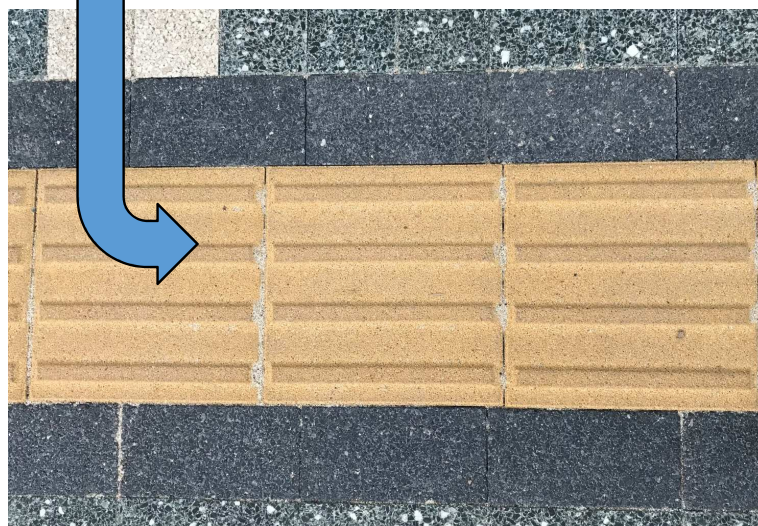
## 3-2. 聞き取り調査をもとにした現地調査の視点

①ブロックの色

②摩耗・破損等

③ブロックの材質(埋めこみ型と貼り付け型)  
→②に関係すると考えられるため

④横断歩道の横断口の誘導用ブロック  
→①～③と同様、視覚障害者の安全な歩行のために重要であるため



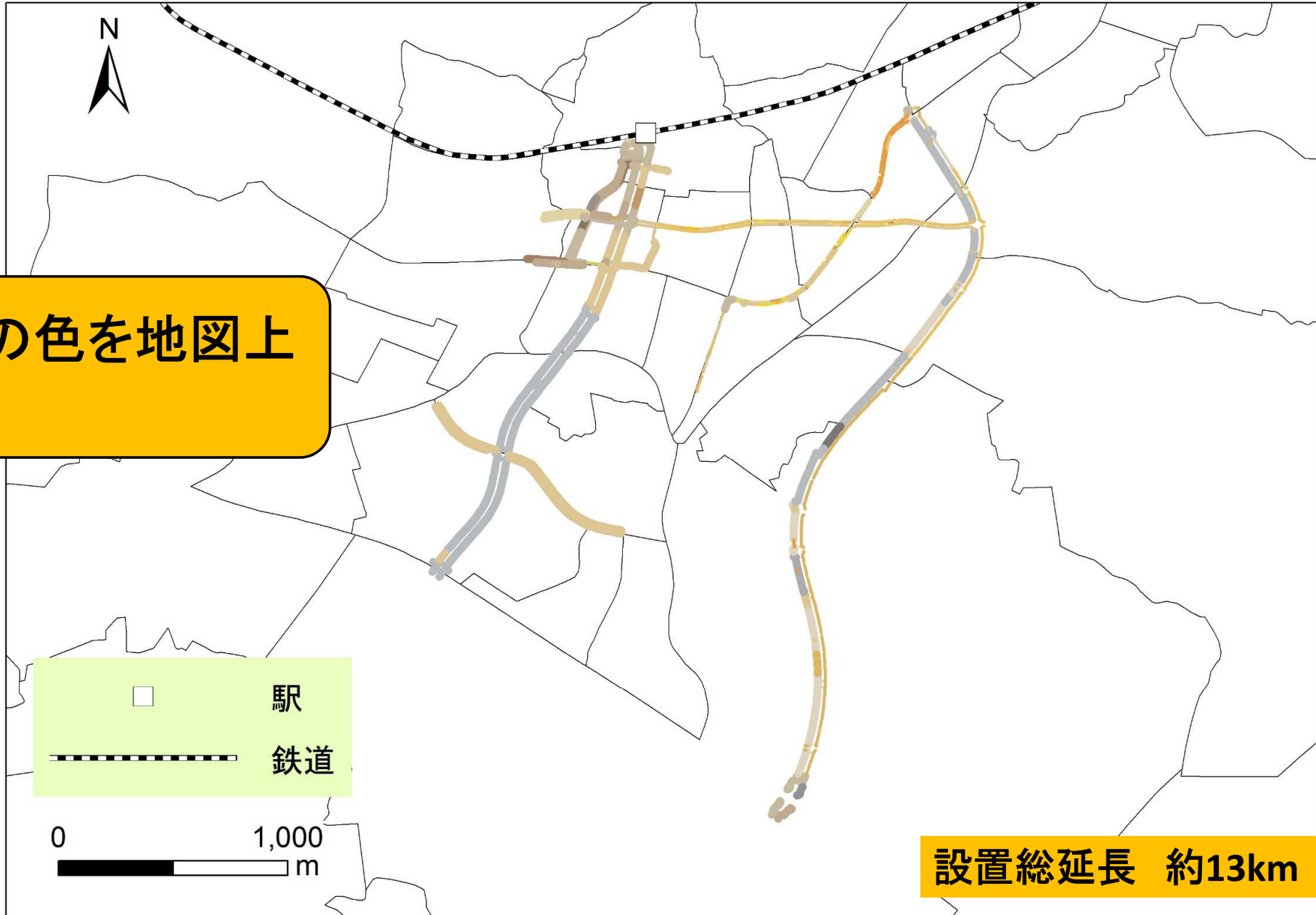
## 4-1. 現地調査の方法

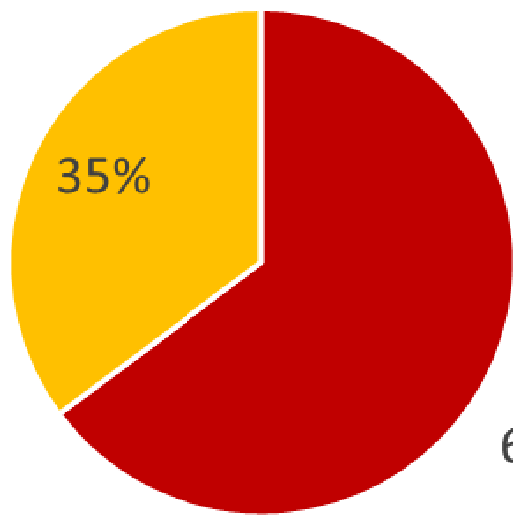
摩耗・破損等の箇所や  
横断歩道への誘導方向に  
誤りがある箇所→  
Google Earthにマッピング

ブロックの色の判別→  
色彩ヘルパー(スマートフォンアプリ)  
を使用、RGB値を測定

4-2.西条の  
調査範囲と  
ブロックの色

ブロックの色を地図上に  
表現



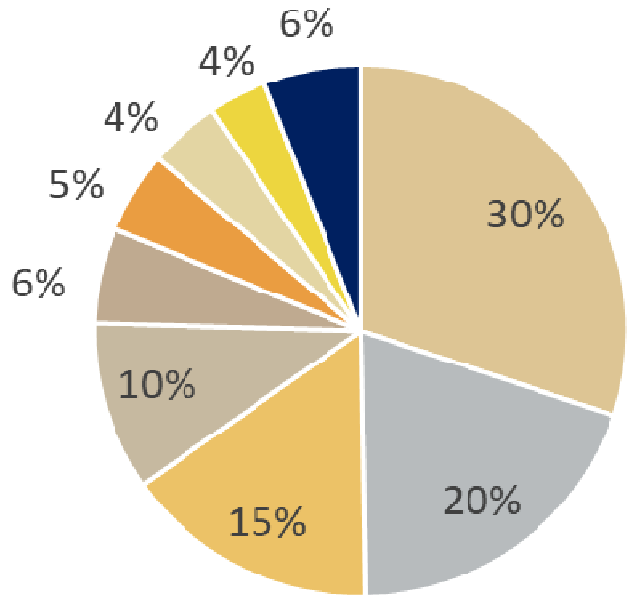


■ 埋めこみ

■ 貼り付け

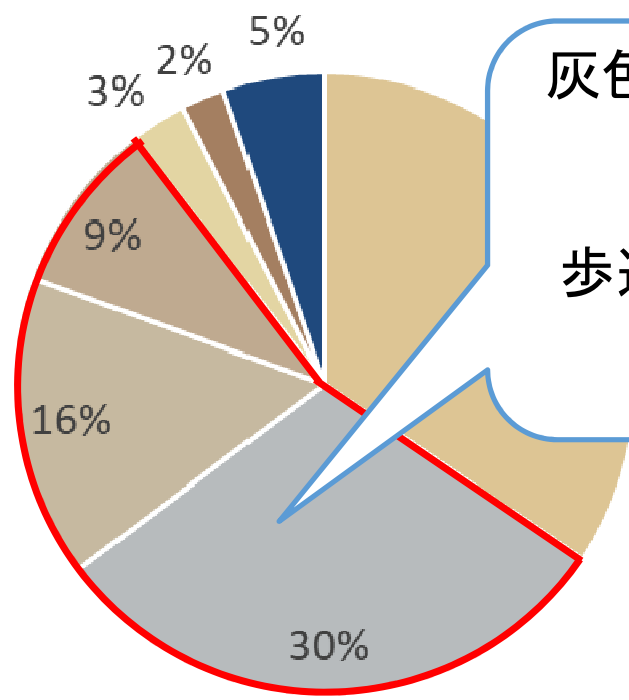
65%

種類別割合



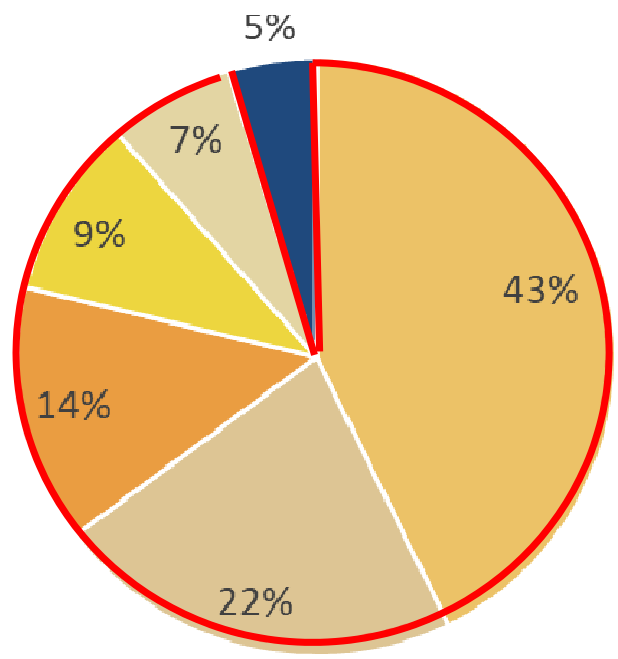
■ その他

色別割合



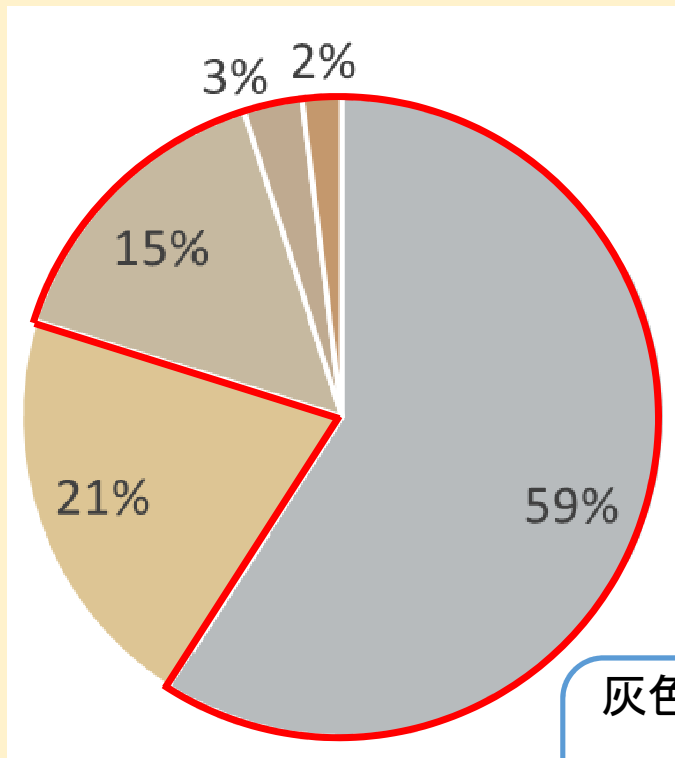
埋めこみ型  
色別割合

灰色系の色の割合が  
高い  
↓  
歩道と同系色になる  
可能性が高い



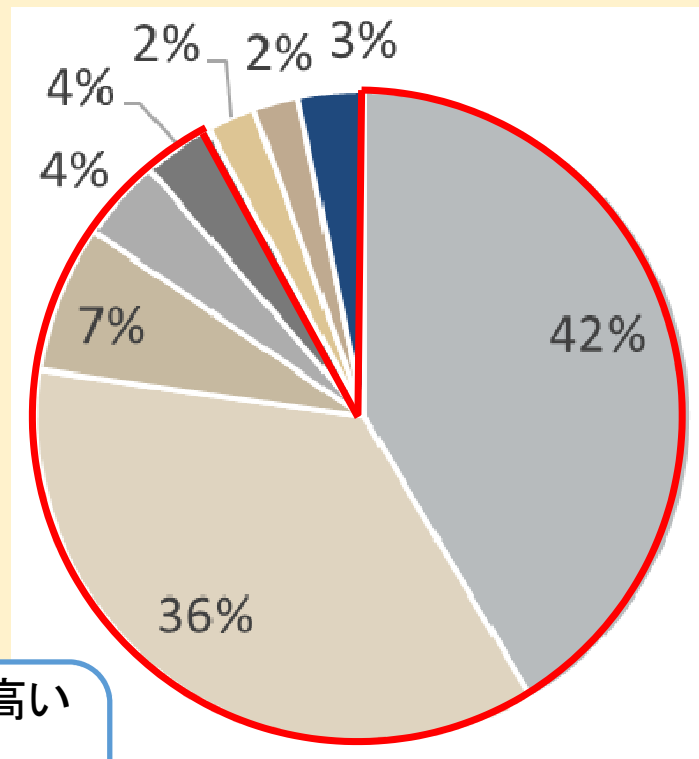
貼り付け型  
色別割合

# 埋めこみ型ブロック 色別割合



ボールバール

埋めこみ型 約4300m



国道375号線(調査範囲)

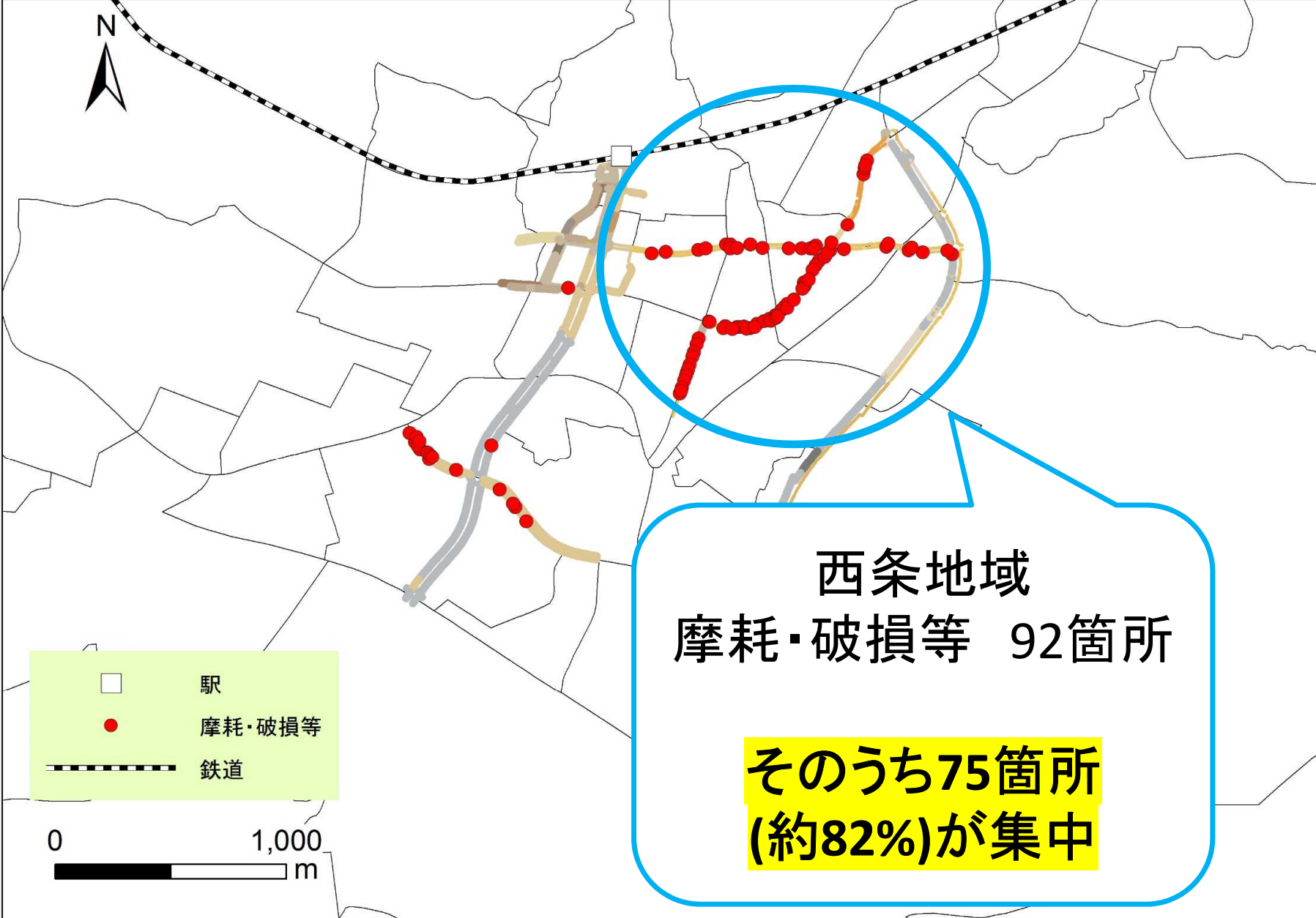
埋めこみ型 約6300m

灰色系の色の割合が高い



歩道と同系色になる  
可能性が高い

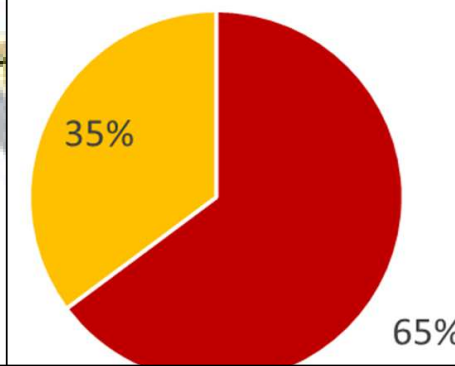
### 4-3. ブロックの 摩耗・破損等



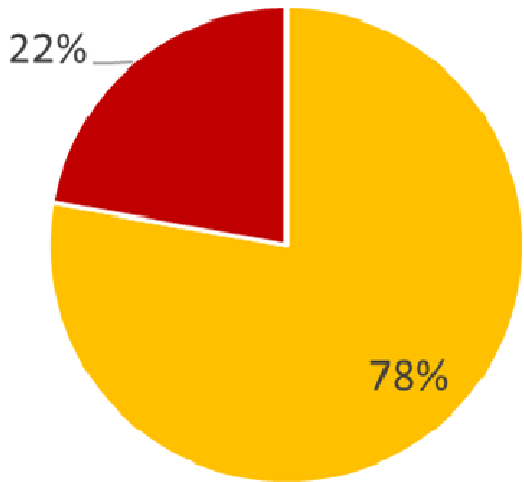


# なぜ、摩耗・破損等が集中しているのか？

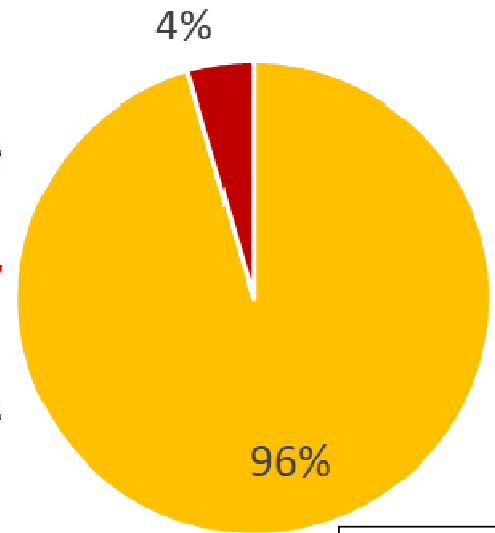
- ① 交通量の多さ(ゆめタウン東広島などへのアクセス)
- ② 貼り付け型の誘導用ブロックの割合が高い



西条地域(調査範囲)全体



ゆめタウン東広島



- 貼付け (Yellow)
- 埋めこみ (Red)

## 4-4. 現地調査から明らかになったこと

横断歩道の誘導方向不適切箇所⇒103カ所



## 4-5.東広島市における誘導用ブロックの利用及び設置に関する課題

①誘導用ブロックの色が歩道と同系色になっている箇所の改善

➡ ブールバール及び国道375線の歩道など

②貼り付け型の誘導用ブロックの修復

➡ 中央巡回線及び一町田吉行線(ゆめタウン東広島周辺)の歩道など

③誘導方向に誤りがある箇所の修正

④八本松駅など西条駅以外の駅周辺を中心とした誘導用ブロック  
設置範囲の拡大

## 4-6. 東広島市における誘導用ブロックの利用及び設置に関する課題

### ③誘導方向に誤りがある箇所の修正

2020年1月9日撮影



2020年1月20日撮影



## 5-1. 本研究の成果

聞き取り調査・現地調査

誘導用  
ブロックの  
分布図

摩耗・破損等  
の箇所

横断歩道口の  
誘導方向に誤り  
がある箇所

地図で具体的に示すことができた。

東広島市における誘導用ブロックの設置状況を把握し、誘導用ブロックの利用及び設置に関する課題を挙げることができた。

## 5-2. 本研究の課題

### ①調査範囲

今回の調査範囲以外にも東広島市において誘導用ブロックが設置されている歩道がある。

➡ 今回の調査範囲の課題を東広島市の課題として挙げるのが妥当か

### ②バリアフリーの総合性

誘導用ブロックの整備だけではバリアフリー化は十分であるとはいえない。